

分野名	全てのいのちが共生する社会の構築			施策 No.	IV-3	施策名	生息環境の再生・創造
目的及び内容	生物多様性に配慮した行動促進(手引きを作成、公共事業・事業活動・日常生活における配慮促進、保全取組の評価制度の検討等)エコロジカルネットワークの構築推進(公園・府民の森・河川等の府民活動拠点化、周辺緑地等の整備等と連携、周辺山系～沿岸のネットワーク形成)						
分野内における位置付け	分野の2020年目標である「活動する府民を2009年の約7万人から30%増加」の達成を図る。						
関係法令、行政計画等	生物多様性条約、生物多様性基本法、生物多様性国家戦略2012-2020(H24.9)、鳥獣保護法、外来生物法 府環境基本条例、府自然環境保全条例、府立自然公園条例、府民の森条例、府自然海浜保全地区条例、府文化財保護条例 みどりの大阪推進計画(H21年12月、H37年まで) 大阪府豊かな海づくりプラン(H17年5月、H26年度まで)						
施策に属する事業及び取組実績	毎年度点検評価対象事業名	取組実績(H23)	取組実績(H24)	取組実績(H25)			
	天然記念物イタセンバラの保護増殖	外来種駆除調査水域で外来種比率の大幅な減少確認 ☆☆☆	外来種駆除水域で在来種数・個体数の回復を確認。自然でのイタセンバラ繁殖確認、野生復帰成功。 ☆☆☆	野生復帰に向けた放流効果と繁殖状況確認調査			
	共生の森づくり活動推進	参加1,472人 多様な自然環境創出1.4ha ☆☆☆	参加1,613人 多様な自然環境創出1.6ha ☆☆☆	参加1200人 多様な自然環境創出1ha			
	森林資源モニタリング事業	広葉樹林のナラ枯れ被害の実態調査 ☆☆☆	広葉樹林のナラ枯れ被害の実態調査 ☆☆☆				
単年度サイクルの点検評価結果：☆☆☆想定以上/☆☆☆想定どおり/☆☆想定以下(特に改善を要しない)/☆想定以下かつ改善							
	その他の主な事業名	実施年度	主な内容・実績				
	多奈川ハブマップ事業	H23-25	岬町の関西空港土採跡地のハブマップの生息環境向上の取組。寄附金を活用。				
	自然環境保全活動推進事業	H23-25	府自然環境保全地域等での大阪みどりのトラスト協会の保安全管理活動へ助成				
	自然公園整備事業	H23-25	国立公園等で自然環境を保全し、府民が自然と触れ合う場の確保や利用者の安全対策を実施				
	外来生物対策事業	H23-25	アライグマ防除実施計画に基づき市町村と連携して駆除実施。				
	鳥獣保護管理事業	H23-25	鳥獣保護管理計画等に基づき、区域指定、救護ドクター指定、鳥獣保護員任命等				
	港湾緑地・人工干潟整備	H23-25	環境改善、野鳥や海生生物の生息環境創出を図るための環境整備				
	農業用水路改修事業	H23-25	水路改修による安全確保と府民協働による水辺環境づくり(H24年度5地区で実施)				
	ふるさとの川・中之島にぎわいの森づくり事業	H23-25	良好な水辺・緑空間の創出				
	府民の森・花の文化園管理運営	H23-25	府民が自然と触れ合い、学ぶ場として整備した施設の維持管理、施設改修				
施策に要したコスト	事業のコスト(千円)	H23(決算額)		H24(決算額)		H25(見込み額)	
	本施策が主たる目的である環境関係事業	(26年度に記載)					
	本施策が従たる目的である環境関係事業						
	環境以外の目的を有する事業						
取組指標及び近年の実績(施策効果の定量評価)	取組指標	設定理由			近年の実績		
	① 生物多様性の損失を止める活動に参加した府民	生物多様性の損失を止める行動の規模を把握する。			約12万5千人(2011年度 内訳:おおさか山の日イベント7万5千人、共生の森づくり・里山保全活動等6千5百人、アドブトリバー・河川清掃活動1万8千人)		
	② 生物多様性分野の環境活動に取り組んだ府民の比率	府民全体への行動の波及状況を把握する。インターネットモニターアンケートにより把握される、最近1年間に活動に参加した府民の比率(府民全体からの抽出ではないため、参考値として扱う)。			生物多様性の保全の分野について過去1年間に参加型環境学習に参加した府民の割合 0%(2013年度)		
副次的効果、外部効果等	①社会教育効果、地域力を高める効果が期待できる。 ②生態系サービス(生態系から得られる恵み;大気・水、食料・木材、医薬品・品種改良、文化・風土)の維持に資する。						
国等の政策、社会情勢等	①H22年10月名古屋市中にて生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)開催、新戦略計画・愛知目標(2020年までに生態系が強靱で基礎的なサービスを提供できるよう、生物多様性の損失を止めるために実効的かつ緊急の行動を起こす)、名古屋議定書等を採択。 ②「生物多様性国家戦略2012-2020」H24年9月閣議決定。基本戦略、各主体に期待される役割、ロードマップ、行動計画を規定。						
点検・評価結果	①当施策は概ね順調に進捗している。 ②計画本文及び工程表に掲げた事業の進捗は以下のとおり。						
	事業名	進捗					
	生物多様性配慮の手引き策定	☆☆ 企業を対象とした、生物多様性保全の取り組みを促す、「生物多様性ガイドライン」を策定(H25予定)					
	生物多様性配慮活動の評価手法検討、評価実施	☆☆ チョウなど身近な生きもの調査による評価手法の検討、試験的評価の実施					
	生物多様性推進拠点の整備	☆☆ 府民の森、共生の森、淀川わんど、多奈川ビオトープ等での整備の推進					
	藻場・干潟の再生(保全及び親水活動)	(26年度に記入。以下、空欄は同様。)					
	海底の砂地再生(マブルーチ等)						
	大阪湾窪地解消(モリツグ、埋め戻し工事実施)						
	水産資源保護管理(栽培漁業、資源回復計画、漁礁)						
	多自然川づくりの推進						
	生物多様性に配慮した農空間の保全・活用	☆☆ 農空間保全地域制度を推進、遊休農地解消面積52ha					
	エコロジカルネットワーク構築(生物多様性やネットワーク化に配慮した公園整備・緑化推進)	☆☆ みどりの大阪推進計画に基づき、中環の森、みどりの風促区域などを中心に緑化推進					
	森林整備の推進(適正な間伐、針広混交林化推進)	☆☆ 放置森林対策行動計画に基づく間伐の推進 1,540ha					
	里山保管理推進						
	臨海部生息環境創造						
	野生生物の適正な保護管理						
	外来生物対策(アライグマ)	☆☆ 第2期防除実施計画策定(H23)・進行管理、情報収集・措置支援等実施					
	外来生物対策(ブラックバス等)	☆☆ イタセンバラ自然復帰支援の一環として外来生物駆除を実施					
	進捗状況:☆☆☆計画以上の進捗/☆☆計画どおり/☆計画どおりではない						
施策・事業の改	(26年度に記入)						

善方針等	
今後の取組指標 及び施策目標	(今後掲げるべき取組指標)「取組指標及び近年の実績」に掲げた指標とする。 (今後掲げるべき目標)①分野目標と同じ。②(26年度に検討して記入)
作成担当課・G	

本作成例は、以下の前提で仮に作成したものです。本シートの記載内容は平成26年度の複数年サイクル点検評価実施時に確定します。

- 記載している社会情勢等は現時点のもの。
- 平成25年度の各事業の実績は、ほぼ年度当初の見込みとおりの実績と仮定。